

[成果情報名] 有機農産物は新鮮で実際に食べておいしいと評価されている

[要 約] 有機農産物を日常的に農家から購入している消費者は、単に有機農産物だから安全・安心という抽象的な概念だけではなく、新鮮で実際に食べておいしいという価値を併せて評価しており、通常栽培の農産物をスーパーで購入するより2倍以上の効用（満足感）が得られている。

[キーワード] 有機栽培、コンジョイント分析、消費者直売

[担 当] 静岡農林技研・経営生産システム科

[連絡先] 電話 0538-36-1551、電子メール agrikikeiei@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 経営

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

一般消費者を対象としたアンケートでは、有機農産物に対する価格プレミアは通常栽培と比較して2~3割程度であるが、実際の販売価格は6~7割高く流通している。そこで、本研究では有機農産物の購入頻度の異なる消費者を対象として、有機農産物に対する評価を定量的に明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 有機農産物を日ごろ農家から直接購入している消費者（以下「日常的購入者」）に比べ、一般消費者の有機農産物の購入頻度は低い（第1表）。
- 2 一般消費者の有機農産物の購入先はスーパーが中心であるが、野菜及び果実では農産物直売所も有力な購入先となっている（第2表）。
- 3 有機栽培米を対象として、その購入に影響を与えると考えられる産地、栽培方法、購入先、価格の4属性の組合せを回答者に提示し、コンジョイント分析を行った。
日常的購入者は栽培方法（有機栽培>特別栽培>通常栽培）を最も重視し、価格も中位の2,400円に高い反応を示すのに対して、一般消費者は価格を最も重視し、1,800円に満足感が高い（第1、2図）
- 4 日常的購入者は、通常栽培米をスーパーで購入することに比べ、有機栽培米を農家から直接購入することで2倍以上の効用（満足感）を得ているのに対して、一般消費者は通常栽培の2割程度の評価であり、価格が上昇することでその満足感は通常栽培米と同程度に低下する（第3表）。
- 5 日常的購入者は、有機農産物を農家から直接購入することで、“安全な農産物”であることに加え、新鮮で実際に食べておいしいという実感できる価値を得ている（第4表）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 コンジョイント分析は米を対象としており、他作物での考察は今後の課題として残された。
- 2 有機農産物に対する価値観は人によって異なることから、ターゲットを絞り込むことと同時に、農産物直売所を利用した消費者の開拓や、消費者交流会等を通してその鮮度や食味の良さを実感してもらえるような努力が必要である。

[具体的データ]

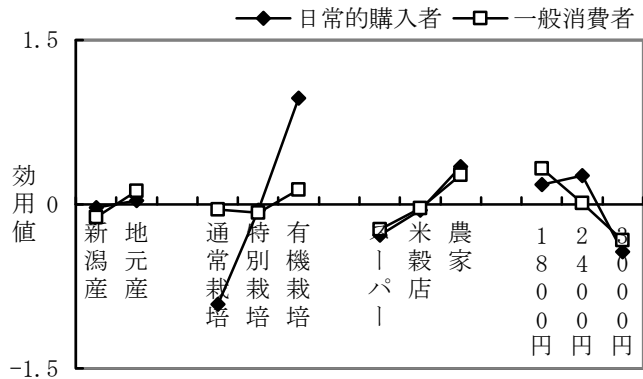
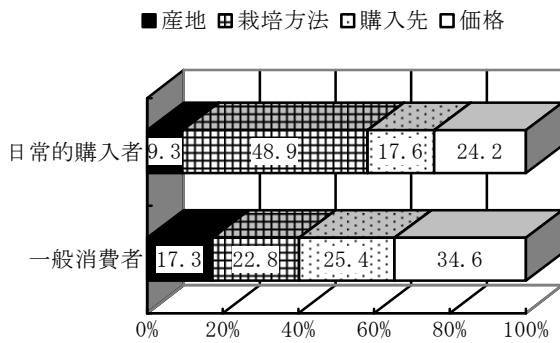
第1表 有機農産物の購入頻度 (%)

品目	日常的購入者			一般消費者		
	日常的に購入	たまに購入	購入しない	日常的に購入	たまに購入	購入しない
米	78	16	6	20	30	50
茶	40	32	28	17	33	50
野菜	77	17	6	20	50	30
果実	29	54	17	13	50	37

注) 日常的購入者に対する調査は、米及び野菜の有機栽培を行う県内の農家の協力を得て23年3月～5月にその顧客を対象に行ったものであり、宅配時に配布及び回収を行った(回答数87)。一方、一般消費者は、11月に開催された農大祭の来場者を対象に行った(回答数93)。

第2表 有機農産物の購入先 (%)

区分	品目	農家	スーパー	生協等	自然食品店	小売店	直売所	その他
日常的購入者	米	78	6	8	0	3	0	5
	茶	45	9	13	20	7	1	5
	野菜	59	12	10	9	1	4	5
	果実	19	24	24	13	9	6	5
一般消費者	米	23	41	0	2	19	4	11
	茶	19	38	6	9	2	15	11
	野菜	11	28	6	5	5	41	4
	果実	12	32	9	2	3	39	3



第3表 コンジョイント分析による全効用値の比較

仮想商品	栽培方法	購入先	価格	日常的購入者		一般消費者	
				全効用値	同左指数	全効用値	同左指数
a	通常栽培	スーパー	1,800円	1.950	100	3.330	100
b	有機栽培	スーパー	1,800円	3.837	197	3.512	105
c	有機栽培	農家	1,800円	4.464	229	4.009	120
d	有機栽培	農家	3,000円	3.848	197	3.357	101

注) 全効用値 = 定数 (日常的購入者 2.941、一般消費者 3.171) + 各水準の効用値の総和。

第4表 日常的購入者の意識 (単位: %、複数回答)

設問	選択肢	割合	設問	選択肢	割合
有機農産物を購入する理由	安全な農産物だと思うから	96	農家から直接農産物を購入する理由	新鮮だから	79
	おいしいから	68		おいしいから	72
	自分や家族の健康上の理由	67		地元で生産されたものだから	71
	環境にやさしい農法だから	65		有機栽培だから	69
	心身の豊かさ、心の贅沢のため	21		価格が安いから	32
	その他	5		その他	28

研究課題名: 有機稲作技術の体系化と経営モデルの構築

予算区分: 県単

研究期間: 2010～2011年度

研究担当者: 中川孝俊